

所得税法第56条の廃止要請

日本共産党 丸尾 隆子

質問 中小企業の家族従業員等の人権回復のためにも、所得税法第56条の廃止を国に働きかけてはどうか。

答弁 同法第56条の趣旨は、対価を必要経費に認めた場合の税負担の公平性への懸念から規定されたものであるが、社会経済や家族関係のあり方などに変化が生じていることもあり、国もこの見直しを税制の抜本改革の中で研究していくこととしていることから、今後の税法系の見直しの中でよく議論していただきたいと考えている。(市長)

市のいじめ防止に向けた対策

民主・市民ネット 石井 満

質問 市内で起きた不幸な事件を風化させないため、全市を挙げた取り組みが必要と思うが、市長の考えはどうか。

答弁 市内で発生した事件はまさに心痛む事件で、このような不幸な事態は決して起こしてはならず、全市を挙げて取り組みなければならぬ課題と考えている。平成19年度からは、11月1日をはこだて子どもの日として子どもの健全育成のための運動も始まり、全市に広がっていくことにより、いじめの根絶につながるものと考えている。(市長)

競輪場の足湯と機器の更新

新生クラブ 黒島 宇吉郎

質問 包括受託業者提案の足湯の設置を指導すべきでないか。また現システムの新規更新は、補修で十分ではないか。

答弁 足湯の設置は、今年度サービスの一環で簡易移動式の足湯を設置したが、利用率は低く、アンケート結果でも希望が少なく、今優先させるべきものではないと考える。また、機器の更新については、全国の子車券発売システム一元化への対応について、現システムの耐用期限等を踏まえ、今後総体的に検討を進めたい。(市長)

土地開発公社保有地の整理

市民クラブ 小野沢 猛史

質問 函館市土地開発公社保有の市有地について、市が買い取る際の簿価と時価で差額が出ているが、決意をもって早急に整理すべきではないか。

答弁 公社が先行取得した土地を市が買い戻す際に簿価と時価の差損を生むことや土地の使い道が定まらないまま残っていることは、大きな問題と認識している。これらは、土地開発基金で取得した土地も含めて、バランスを考えながら1件1件整理する形で取り組んでいくしかないと考えている。(市長)

児童虐待防止に係る職員研修

公明党 茂木 修

質問 児童虐待防止について、担当職員の資質の向上のため、研修が必要と考えるがどうか。

答弁 虐待防止を担当する職員は、平成20年度では、函館児童相談所が実施した研修会で一時保護やカウンセリングを学んだほか、実務者研修会へも参加しており、今後はさらに、全国規模の研修会への参加も検討している。職員研修は、業務を遂行する上で非常に重要と考えており、積極的な参加により資質向上を図り、虐待防止の対応に努めたい。(福祉部長)

路線バスとまちづくり

日本共産党 市戸 ゆたか

質問 50戸連たん地域の足の確保や東部4地域において旧市内での交通機関助成制度の利用の検討等バス利便性確保についてどのようか考えるか。

答弁 東山・陣川の50戸連たん地域の既存バス路線の充実、住民ニーズや利用者動向を踏まえ、利用しやすい公共交通となるよう、バス事業者に働きかけていきたい。また、東部4地域のバス運行のあり方についても、住民の利便性を踏まえながら、ご提言の助成制度も参考に、包括的に検討していきたい。(市長)

函館の潜在力の活用

民主・市民ネット 阿部 善一

質問 経済・雇用状況の改善のため、函館の持つ良さ、潜在力をどう引き出し、観光客に對してどう魅力を提供していくかを考えていかなければならないのではないか。

答弁 観光に関しては、国外の観光客へのトップセールスも大事であるが、担当職員が実際に向かい、具体的にエージェントと旅行商品やニーズ、希望についてきちんと詰め、一つ一つきめ細かく旅行商品を開発していくなど、多くの細かい作業が必要であると考えている。(市長)

人づくりと読書活動の充実

公明党 松宮 健治

質問 「まちづくり」や「人づくり」のため、読書活動を支える学校図書館等の充実について市長の考えを聞きたい。

答弁 子どもたちが活字に触れ合う環境を作っていくことは、考える力や相手との対話能力を養うほか、感受性、思いやりの心を育てるなど、非常に大事であると考えている。学校教育現場でも、朝時間の読書活動など活字教育を大事にする活動を行っており、学校図書整備など読書環境の充実について全面的に支援していきたい。(市長)

温泉資源懇話会の提言

日本共産党 紺谷 克孝

質問 水道局では温泉事業の経営健全化対策を進めているが、温泉資源懇話会からの提言をどう受け止めているのか。

答弁 提言書の中の「谷地頭温泉の経営は、今後も公営であることが望ましく、売却案については十分な検討がなされる必要がある」との記述は承知しているが、一方で、経済建設常任委員会では、「温泉の民営化にあたっては、売却の選定等慎重に検討する必要がある」との調査結果をまとめているため、複雑な思いで受けとめている。(水道局長)

競輪場外車券売場の収支

無所属 三遊亭 洋楽

質問 サテライト松風の平成17年度から20年度のトータル赤字はどのくらいか。

答弁 サテライト松風の収支について、函館競輪場での実際の本場開催分では、平成17年度から平成20年度の赤字総額は2億2,296万2千円で、一方で、場外開催分としては、平成17年度から平成20年度の4カ年の合計で1億1,423万8千円の黒字となっており、結果として、サテライト松風全体での収支は、1億8,722万4千円の赤字になっている。(競輪事業部長)